

「収蔵資料検索システム —あなたの家が博物館—」

高岡市立博物館
Takaoka Municipal Museum



使いかた

高岡市立博物館 収蔵資料検索システム

当館では、高岡・富山の歴史、民俗資料をはじめ、銅器や漆器などの伝統産業に関わる資料を収集、保存、調査研究しています。
このシステムでは、高岡市立博物館の収蔵資料を検索することができます。
下のメニューより検索方法を選択してください。

ラングムピックアップ



(c)Takaoka Municipal Museum

コーヒーセット

分類を選んで検索する

歴史資料

美術資料

民俗資料

考古資料

写真

①

いずれかを
クリックします

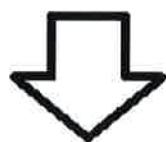
条件を入力して検索する

キーワードで検索

詳しい条件で検索

[博物館のホームページへ](#)

[検索の手引き](#)



高岡市立博物館
Takaoka Municipal Museum



検索メニュー >

分類で検索する

この分類の全ての資料を表示

全件表示は
ここをクリック

古文書・古記録

絵図・地図

書籍・刊行物

印刷物

絵葉書・写真

貨幣・紙幣

産業関係

その他

②

いずれかを
クリックします

古文書・古記録を選択してみましょう



検索結果 3件 検索条件 歴史資料-古文書・古記録

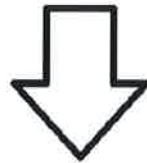
1 / 1ページ

資料番号	資料名
1-01-00001	前田利長書状
1-01-00002	鋳物師職許状
1-01-00003	鋳物師職許状

登録されている
資料が表示されます

詳細を見るには
画像・番号・名称の
いずれかをクリック

③



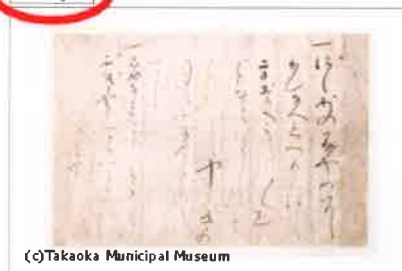
次 > 最後 >>

④

拡大もできます

拡大

選択した資料が
表示されます



(c)Takaoka Municipal Museum

分類	歴史資料-古文書・古記録
資料番号	1-01-00001
資料名	前田利長書状
寸法	高さ、縦35.1cm×幅、横51.5cm
年代	〔慶長14年〕5月30日
材質	紙
解説	5月30日付の前田利長書状である。 利長が側近へ、越中砺波郡西部金屋村（現高岡市戸出西部金屋）の鋳物師に高岡に来て仕事をするようになど指示している。 高岡金屋町は、前田利長が砺波郡西部金屋の鋳物師を、新しく建設する高岡城下へ移住させたことに始まる。 この文書によって、城下町の町割りの一環として金屋町を定めたのは、山田与兵衛ら武士たちの屋敷地割りと同時であったことが分かる。 高岡市指定文化財（平成8年12月4日指定）。



②

検索メニュー >

キーワードで検索する

高岡 を含む

☐ 全ての語 ☐ いずれかの語

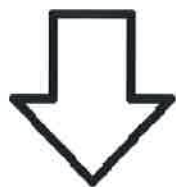
☐ 画像が登録された資料を
☐ 25件 ☐ 50件 ☐ 100件ずつリスト表示する

リセット 検索

キーワードを入力します

「高岡」と入れて
検索してみましょう

クリック



「高岡」と
入力すると...

検索メニュー > キーワードで検索する >

検索結果 48件 検索条件 キーワード：高岡

1 / 2ページ 次 > 最後 >>

次のページは
「次」をクリック

詳細を見るには
画像・番号・名称の
いずれかをクリック

③

資料番号	資料名
 1-01-00001	前田利長書状
 1-01-00002	徳義館蔵証状
 1-01-00003	徳義館蔵証状
 1-03-00001	高岡市街鳥瞰図リーフレット



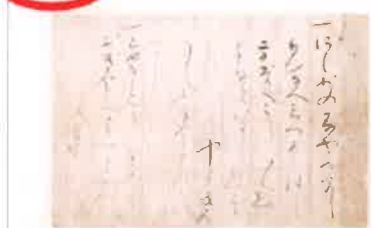
検索メニュー > キーワードで検索する > 検索結果一覧 >

次 > 最後 >>

④

拡大

拡大もできます



(c)Takaoka Municipal Museum

分類	歴史資料-古文書・古記録
資料番号	1-01-00001
資料名	前田利長書状
寸法	高さ、縦35.1cm×幅、横51.5cm
年代	(慶長14年) 5月30日
材質	紙
解説	5月30日付の前田利長書状である。利長が側近へ、越中砺波郡西部金屋村(現高岡市戸出西部金屋)の鋳物師に高岡に来て仕事をするようになど指示している。高岡金屋町は、前田利長が砺波郡西部金屋の鋳物師を、新しく建設する高岡城下へ移住させたことに始まる。この文書によって、城下町の町割りの一環として金屋町を定めたのは、山田与兵衛ら武士たちの屋敷地割りと同時であったことが分かる。 高岡市指定文化財(平成8年12月4日指定)。

選択した資料が表示されます



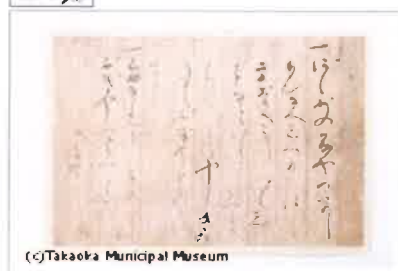
前の画面に戻るには



検索メニュー > キーワードで検索する > 検索結果一覧 >

次 > 最後 >>

拡大



(c)Takaoka Municipal Museum

分類	歴史資料-古文書・古記録
資料番号	1-01-00001
資料名	前田利長書状
寸法	高さ、縦35.1cm×幅、横51.5cm
年代	(慶長14年) 5月30日
材質	紙
解説	5月30日付の前田利長書状である。利長が側近へ、越中砺波郡西部金屋村(現高岡市戸出西部金屋)の鋳物師に高岡に来て仕事をするようになど指示している。高岡金屋町は、前田利長が砺波郡西部金屋の鋳物師を、新しく建設する高岡城下へ移住させたことに始まる。この文書によって、城下町の町割りの一環として金屋町を定めたのは、山田与兵衛ら武士たちの屋敷地割りと同時であったことが分かる。 高岡市指定文化財(平成8年12月4日指定)。

検索や分類の画面に戻るには「検索メニュー」「キーワードで検索」「検索結果一覧」のいずれかをクリック